



文部科学省後援 PDA 全国高校 即興型英語ディベート合宿・大会 2018 報告書

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2018年8月10日(金)～11日(土)

(1日目) 練習3ラウンド、モデルディベート、予選1、予備ラウンド

(2日目) 予選2、予選3、準決勝、決勝

会場：ホテルフクラシア大阪ベイ

参加者数：生徒169人、教員41人、他PDAスタッフ

主催：一般社団法人 パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

後援：文部科学省

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

協力：大阪府立大学、JST 未来社会創造事業 (探索加速型) 「持続可能な社会の実現」領域 研究開発課題：「知」の循環と拡張を加速する対話空間のメカニズムデザイン

参加校：

(千葉県)翔凜高等学校, (東京都)学習院高等科, 富士見中学高等学校, (神奈川県)浅野学園中学高等学校, 栄光学園, 神奈川県立柏陽高等学校, 神奈川県立相模原高校(栃木県)栃木県立佐野高等学校, (群馬県)群馬県立前橋高等学校, (長野県)長野県松本県ヶ丘高校, 長野県松本深志高等学校, (静岡県)静岡県立静岡高等学校, (愛知県)愛知県立半田高等学校, (福井県)福井県藤島高等学校, (滋賀県)立命館守山高等学校, (大阪府)大阪府立豊中高等学校, 大阪教育大学附属高等学校平野校舎, 関西創価高等学校, 大谷中学校高等学校(京都府)京都府立嵯峨野高等学校, (和歌山県)和歌山県立那賀高等学校, (兵庫県)神戸大学附属中等教育学校, 神戸市立葺合高等学校, 神戸女学院高等部, 雲雀丘学園, (岡山県)金光学園, (島根県)益田高等学校, (山口県)山口県立大津緑洋高等学校大津校舎, 梅光学院高等学校, (福岡県)福岡県教育センター, 福岡県立城南高等学校, 福岡県立八女高等学校, (熊本県)熊本県立第二高等学校, 熊本県立大津高等学校, 済々黌高等学校(沖縄県)沖縄県立宜野湾高等学校, 沖縄県知念高等学校, 沖縄県立球陽高等学校

(順不同)

開催趣旨：

〈高校生向けプログラム〉

本合宿・大会は、即興型英語ディベートの実践を中心としたプログラムで、集中的に「英語での発信力」、「論理的思考力」、「幅広い知識」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」を鍛えます。大学生・大学院生をはじめとした補助スタッフによる手厚い指導も伴い、効果的に上記スキルを向上させます。合宿での集中実践の成果を効果的に発揮できるよう、後半には大会を設けています。また他校生徒との交流も深まります。

〈高校教員向けプログラム〉

本合宿・大会では、生徒のみならず、教員を対象としたプログラムを同時に進行させます。授業に導入できる即興型英語ディベートの手法を知っていただく、また即興型英語ディベート実践を経験していただくプログラムとなっています。授業での導入を前提とするため、合宿では一つのコマを約 50 分としています。また、さらに効果的なプログラムを共に開発するための意見交換会も設けています。

論題（論題は、毎回ディベート開始 15 分前にはじめて発表されます）：

論題 1 : All schools should be co-education.

(すべての学校は共学にすべきである。)

論題 2 : Corporal punishment should be allowed in schools.

(学校において体罰は認められるべきだ。)

論題 3 : We should impose a tax on the usage of SNS.

(SNS 使用に課税すべきだ。)

論題 4 : Japan should legalize active euthanasia.

(日本は積極的安楽死を合法化すべきだ。)

論題 5 : School lawyers should be set to all schools.

(全学校にスクールロイヤーを設置すべきである。)

論題 6 : Casinos in Japan will give us benefit than harm.

(カジノは日本に害より利益をもたらす。)

論題 7 : Overtime regulations will enrich Japan.

(残業規制は日本を豊かにする。)

論題 8 : We should ease the reception of foreign caregivers considerably.

(外国人介護士の受け入れを大幅に緩和すべきである。)

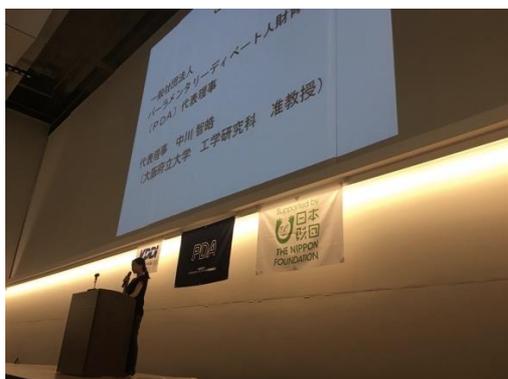
論題 9 : Plea bargaining will do more harm than good.

(司法取引は害よりも利益をもたらす。)

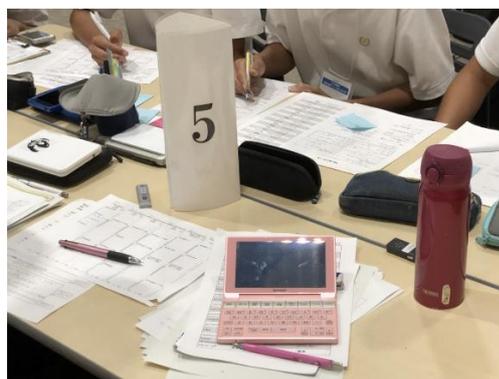
1日目

開会式では、参加校およびスタッフの紹介がなされました。合宿スケジュールの確認、ルール諸注意が行われました。今回は、授業の部、課外活動の部1（初心者）、課外活動の部2（一般）、教員の部の4部が同時並行です。授業の部においては、学校の通常授業において即興型英語ディベートに取り組んでいる学校を対象とし、普段の授業への積極的な参加の成果を発揮する場、また合宿で学んだことを各校に持ち帰られるシステムとしています。

練習ラウンド1の論題は「すべての学校は共学にすべきである。」です。教員の部（一般：即興型英語ディベートの研修に参加したことのある教員向け）では、ラウンドをジャッジする先生、教員の部（初心者）で生徒の様子を見学する先生に分かれました。



開会式



準備時間

練習ラウンド2（教員ラウンド1）の論題は「学校において体罰は認められるべきだ。」です。練習ラウンド1よりも難しくなりましたが、各テーブル積極的な議論やPOIが繰り広げられました。



POIの様子



ディベート後は仲良く握手

教員ラウンドでも、活発に POI が交わされており、白熱した議論が繰り広げられました。



教員の実践



質疑応答をする先生

練習ラウンド3の論題は「SNS使用に課税すべきだ。」です。難しい論題でしたが、ジャッジの先生にアドバイスをもらい、また PDA 認定教育ジャッジの先生方を含むモデルディベートを見学し、こうすれば良かったのかと学びを得ました。



ジャッジの先生からのアドバイス



モデルディベート

また、並行して、教員向けの授業導入の説明、また対話空間のメカニズムの観点から PDA でのディベート特性が説明されました。各高校での導入の様子やコツを共有しました。



自校での導入の様子を紹介



中川代表よりルールの本質のレクチャー

夕食をはさみ、一日目の最後は、生徒の予選1です。予選1の論題は「日本は積極的安楽死を合法化すべきだ。」です。レクチャーで学んだことを早速予選に活かしていたチームもたくさんありました。



聴衆をしっかり見てスピーチ



ときにはジェスチャーもします

合宿内容が終了後、生徒の希望者は他校の生徒と一緒にチームを組んで行うミックスディベートと、ディベートに関する講座などに参加しました。教員は意見交換会に参加し、自己紹介をはじめ、即興型英語ディベートに関する情報交換、交流を深めました。



他校の生徒と一緒に準備します



ディベートに関する質問中

2日目

2日目は朝から予選2が始まります。予選2の論題は「全学校にスクールロイヤーを設置すべきである。」です。1日目よりも堂々とスピーチがなされました。

続いて予選3（授業の部／教員予選2）の論題は、「カジノは日本に害より利益をもたらす。」です。教員も真剣にディベート実践に参加しました。経済的利益、治安の問題、観光や地方活性化の話題など様々な視点からディベートを行うことができました。実践を複数回繰り返すことで、即興型英語ディベートの魅力や難しい点など特長を身でもって掴むことができます。

予選3（課外活動の部／教員決勝）の論題は「残業規制は日本を豊かにする。」です。教員の部では、予選1, 2を通して選ばれた上位の2チームが決勝に進みました。残業という社会問題を自分たちの経験も交えながら熱く議論しました。



POIも堂々としています



チームワークを発揮しています



教員決勝の様子



教員決勝でのPOI

昼食後は、準決勝です。授業の部と課外活動の部に分かれ、同時にディベート実践がなされました。準決勝の論題は「外国人介護士の受け入れを大幅に緩和すべきである。」です。一見、難しそうな論題ですが、わかりやすい議論を組み立て、白熱したディベートとなりました。



たくさんの観客に囲まれます



堂々とスピーチしています

いよいよ決勝です。決勝の論題は「司法取引は害よりも利益をもたらす。」です。論題発表後、決勝に進出できなかったチームも自分たちだったらどんなことを話すかを考えながら準備時間を過ごしました。ディベート中は深い分析に刺激を受けていました。



決勝（授業の部）



決勝（課外活動の部）

結果

チーム賞（授業の部）

優勝： 神戸市立葺合高等学校 B

準優勝： 福井県立藤島高等学校 A

3位： 神戸市立葺合高等学校 A、福井県立藤島高等学校 B



チーム賞（課外活動の部（初心者））

優勝： 神戸大学附属中等教育学校 A

準優勝： 大阪府立豊中高等学校 B



チーム賞（課外活動の部（一般））

優勝： 長野県松本県ヶ丘高等学校 B

準優勝： 浅野高等学校 B

3位： 浅野高等学校 A, C



チーム賞（教員の部）

優勝： 27b チーム=栄光、関西創価、柏陽、球陽

準優勝： 30b チーム=前橋、元浅野、熊本第二、梅光



ベストディベーター賞（授業の部）

1位

- 福井県立藤島高等学校 A



2位

- 福井県立藤島高等学校 A
- 福井県立藤島高等学校 A



4位

- 福井県立藤島高等学校 B



5位

- 福井県立藤島高等学校 B



6位

- 神戸市立葺合高等学校 B
- 大阪教育大学附属高等学校平野校舎 A



8位

- 神戸市立葺合高等学校 A



9位



- 大阪教育大学附属高等学校平野校舎 A

10 位

- 福岡県立城南高等学校 C

ベストディベーター賞（課外活動の部（初心者））

1 位

- 神戸大学附属中等教育学校 A
- 神戸大学附属中等教育学校 A
- 神戸女学院高等部

4 位

- 松本深志高等学校 B

5 位

- 神戸大学附属中等教育学校 A
- 神戸女学院高等部

7 位

- 学習院・前橋
- 梅光学院高等学校

9 位

- 神戸大学附属中等教育学校 B
- 学習院・前橋
- 大津緑陽高等学校大津校舎 B
- 栃木県立佐野高等学校 C
- 長野県松本県ヶ丘高等学校 A



ベストディベーター賞（課外活動の部（一般））

1 位

- 浅野高等学校 A
- 浅野高等学校 C

4 位

- 浅野高等学校 C

5 位

- 浅野高等学校 C
- 長野県松本深志高等学校 A
- 長野県松本県ヶ丘高等学校 B

10 位

- 浅野高等学校 C

POI 賞 (授業の部)

1 位

- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| • 葺合 A | ■■■■■ | • 城南 B | ■■■■■ |
| • 藤島 B | ■■■■■ | • 葺合 B | ■■■■■ |
| • 藤島 A | ■■■■■ | • 平野 B | ■■■■■ |
| • 嵯峨野 | ■■■■■ | • 平野 B | ■■■■■ |
| • 城南 C | ■■■■■ | • 藤島 B | ■■■■■ |

POI 賞 (課外活動の部 (初心者))

1 位

- | | | | |
|----------|-------|----------|-------|
| • 神大附 A | ■■■■■ | • 神大附 C | ■■■■■ |
| • 金光 | ■■■■■ | • 佐野 C | ■■■■■ |
| • 佐野 C | ■■■■■ | • 県ヶ丘 A | ■■■■■ |
| • 神大附 C | ■■■■■ | • 知念 A | ■■■■■ |
| • 神大附 B | ■■■■■ | • 大津緑洋 C | ■■■■■ |
| • 深志 B | ■■■■■ | • 梅光 | ■■■■■ |
| • 神大附 A | ■■■■■ | • 富士見 C | ■■■■■ |
| • 学習院・前橋 | ■■■■■ | • 大津緑洋 B | ■■■■■ |

POI 賞 (課外活動の部 (一般))

1 位

- | | | | |
|-------------|-------|---------|-------|
| • 栄光 B・豊中 A | ■■■■■ | • 益田 | ■■■■■ |
| • 佐野 A | ■■■■■ | • 翔凜 A | ■■■■■ |
| • 深志 A | ■■■■■ | • 浅野 B | ■■■■■ |
| • 創価 B | ■■■■■ | • 浅野 C | ■■■■■ |
| • 浅野 A | ■■■■■ | • 県ヶ丘 C | ■■■■■ |
| • 浅野 B | ■■■■■ | • 富士見 B | ■■■■■ |
| • 県ヶ丘 B | ■■■■■ | • 富士見 A | ■■■■■ |
| • 県ヶ丘 C | ■■■■■ | • 富士見 B | ■■■■■ |
| • 佐野 B | ■■■■■ | | |

アンケート（抜粋）

生徒の声

- 教員のディベートがすごく参考になりました。アドバイスもたくさんいただけて、成長した2日間でした。（神奈川県立柏陽、2年）
- さまざまな学校との交流を通して、ディベートはもちろん、ジャッジの練習や、友達をつくることができ、よい経験になった。（栃木県立佐野、1年）
- 実際に同世代の人々とディベートをするのは初めてで、初めは大変だったけど回数を重ねるうちにだんだん分かってきて良かった。もっとがんばろうと思えた。（島根県立益田、2年）
- 他校の友達と仲良くなれた。東大生の話を聞くことがなかったのですごく良い機会だった。（和歌山県立那賀、2年）
- 自分の成長がとてもよく分かり楽しかった。（群馬県立前橋高校、1年）
- ディベートを初めてやって、上手くできるか、楽しめるか不安だったが、仲の良い友達と短時間集中的に考え、協力して論をたたかわせる知的なゲームを体感でき、本当にたのしかった（神戸女学院、1年）
- ジャッジ体験を通じて、自分たちの論の落ち度や、気づいたポイントのよりよい活かし方に気づくことができました。（山口県立大津緑洋、2年）
- ディベート経験豊富な高校と対戦できておもしろかった。（立命館守山、3年）
- 他校との交流ができて、他校がどのような英語の勉強方法をしているのかも少しし、はじまる前に比べたら、圧倒的に上手くなったと思う。もっともっとがんばって、来年もでて1位になりたい！！（大阪府立豊中、1年）
- 上には上がいることを知った。どの学校もレベルが高く、とても格好よかった。大学生から、勉強方法もきけて、とても良い経験になった。（長野県松本深志、1年）
- 自分のディベートの能力がアップしたことが分かる合宿だった。（福岡県立城南、1年）
- 今回とても面白かったのもっと自分の世界を広げたいという意欲がわいたから。二泊分くらいあったら嬉しいです。（雲雀丘学園、1年）
- 英語力が上がった。ミックスディベートで友達がつくれた。（翔凜、1年）
- 全くできなくて本当に自分が嫌になりましたが、他校の方々やスタッフの方々のおかげでもっとがんばろうと思いました。英語ができないのに英語のディベートにでて、ただ恥をさらすだけだと思っていました。しかし回数を重ねていくごとにできないなりにやろうと開きなおってしていくようになりました。英語を勉強して、ディベート練習ももっともっとして、リベンジしたいなと思いました。（梅光学院、1年）
- 去年よりもグレートUPできたかなと思います。ディベートで初めて聞くことか考えることが多く、もっと日々の学習が重要だなとも思いました。（松本県ヶ丘、2年）

- ホテルも広く、キレイだった。たくさん試合ができてよかった。(富士見、2年)
- 本合宿大会で自分の実力不足を痛感しました。それはただ、実戦経験が少ないということではなく、普段から物事を筋道立てて考えていなかったからだと思います。(京都府立嵯峨野、1年)
- 実践も多くて、新しく学べることができました。特に、タイムマネジメントやサインポストなど自分が今まで気づけなかった改善点を見出せたのは大きいと思いました。(福井県立藤島、2年)
- 初めてこの合宿に参加して、これまではディベートはあまり面白くない、難しいという印象が強かったけど、すごく楽しくて、本当によかったです。すごく緊張して、上手いかなかったことが多かったけど、いろんな技術を学べたし、本当にいろんなことを学べたので、これからも英語力、そしてディベート力を高められるようにがんばります！ありがとうございました！！(関西創価、2年)
- とにかくみなさんのレベルが高かったです。日頃から英語に対しては絶対的な自信を持っていた(英検準一級)のですが、自分の英語力がまだまだ足りていない上に現代社会の問題への関心への欠如も露呈してしまいました。精進したいです。(大教大附平野、1年)
- 正直舐めていたけど、レベルの違いに圧倒された。自分のレベルをより高めて、再挑戦したい。(神戸市立葺合、2年)
- 次につながる様々な経験が出来て非常によかった。(自分が原因で負けたと思っているので。)来年必ず帰ってきて、優勝したい。(浅野、1年)
- 他の強豪校のディベートを見て良かった。また、交流もできて良かった。(栄光学園、1年)
- 他のグループについて見ることで、話し方やニュアンスが勉強になりました。(神大附中等教育)

教員の声

- 緊張はしましたが、ディベート実践はチームの先生方のサポートも多く頂き質問したり笑いあったりと楽しかったです。リラックスと緊張の繰り返し！夜の意見交換会も有意義でした。(沖縄県立球陽)
- 広くて綺麗な会場で充実した設備の中の2回目、非常に勉強になりました。なによりもレベルの高いジャッジからコメントをいただけることがスキルアップやモチベーションにつながると実感しました。(神奈川県立柏陽)
- ディベートの目的がしっかりとしておりこうした活動を通じて生徒の能力向上が見込まれます。ここで生徒たちが感じ身につけたものは大きな力になると確信しています。ありがとうございました。(神戸市立葺合)
- 様々な先生方との実践共有、意見交換ができて良かったです。(福井県立藤島)

- 授業でディベートをしています但ジャッジの仕方がわからなかったので大変参考になりました。(和歌山県立那賀)
- 密度の濃い2日間でもとても学びが多かった。レベル別になっていて生徒もやりやすかったのでは? 教員用にもポスタープレゼンや情報交換会、実践等、プログラムを組んでいただき、他の研修との違い楽しく学ぶことができた。(群馬県立前橋)
- 日頃生徒に考えてほしい topic が扱われており良かった。他校の生徒の様子や先生方の考え方に触れとても良い刺激になりました。(静岡県立静岡)
- 授業の部と課外の部に分けてあるので授業だけで取り組んでいる学校でも安心して参加することができます。(福岡県立城南)
- 全く未知の世界に入りいきなりの実践でかなり緊張で生徒の気持ちが痛いほどわかりました。生徒たちへのコメントもとても温かく、感激いたしました。(梅光学院)
- 授業や行事でリアルに実践されている現場の先生方と意見交換ができ、とても刺激になりました。ディベートは「やりたい人がやる」ものだと思っていましたが、もっとユニバーサルに行なわれるべき教育内容だという考えがもてるようになりました。
(立命館守山)
- 昨夜中川先生もおっしゃっていましたが今高校もディベートの取り組みは過渡期にありますね「教育ディベート」というジャンルを我々教員がきちんと確立していかなければと思われた。こういった大会を継続して開催されている中川先生と PDA のスタッフの方々に感謝しております。(京都府立嵯峨野)
- ディベートに関わる人々の温もりに包まれた会場でした。(栄光学園)
- 参加の生徒さん、先生方の英語力のレベルに圧倒されました。どのようにしたら本校の生徒に還元できるのか、もう少し考えていきたいと思ひます。書籍の販売をしてもらえるとありがたいです。(熊本県立大津)



集合写真

ご支援、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

以上